

令和 8 年度 シラバス

教科名 外国語

愛媛県立宇和高等学校

英語コミュニケーションⅠ

愛媛県立宇和高等学校

教 科	外国語	単位数	3	対象	総合学科 1 年
使用教科書	MY WAY English Communication I	副教材等	ターゲット 1200 EARTHRISE 総合英語	履修	 必修・選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
中学校の既習文法を定着・発展させて、受験に必要な基礎学力を養うとともに英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 英語を英語で学習し、実際のコミュニケーションの場面に即した学習を行う。		本文の内容や文法事項を理解するとともに、新出語句や重要表現を身に付ける。 便利な表現を身に付け、相手に自分の考えを英語で伝えることができるようにする。 ペアやグループにおいて、協働的な学習を行い、互いに教え合えるようにする。		条件はありません。	
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容		メ モ
	一 学 期	Lesson1	Fonts and Communication	○現在形・過去形/進行形/SVO	
		Lesson2	Beavers: Eco-friendly Animals	○助動詞/受け身/助動詞のついた受け身 比較級・最上級	
		Lesson3	Alternative Foods	○動名詞/to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法 形容詞的用法	
		Lesson4	Messages from Winnie-the Pooh	○現在完了形/現在完了進行形/過去完了形 ○パフォーマンステスト	
	二 学 期	Lesson5	Endangered Languages	○関係代名詞(主格・目的格)/関係代名詞 what It is ...to 不定詞	
		Lesson6	Musicians of the Metro	○関係副詞 where・when・why/比較・最上級	
		Lesson7	A Wheelchair traveler	○現在分詞形容詞的用法/ 過去分詞形容詞的用法/分詞構文/It is...that～	
		Lesson8	Avatar Robots	○条件を表す if 節/仮定法過去/I wish～/as if ～ ○パフォーマンステスト	
	三 学 期	Lesson9	Kadomo Eiko and the Power of Immigration	○SVO1O2(O2=how to～)/SVO+to 不定詞 SVOC(C=動詞の原形)/SVOC(C=現在分詞)	
Lesson10		Toward a Sustainable World	○プレゼンテーションの仕方 ○1年間の総復習 ○パフォーマンステスト(ショートプレゼン)		
学 習 方 法	【授業】積極的かつ主体的に授業に取り組もう。ペアやグループで協力して授業に取り組もう。 【復習】新出単語・熟語、内容理解の確認をしよう。様々な方法で音読に取り組もう。 【予習】新出単語・熟語を辞書で調べよう。単語テストの勉強を習慣化しよう。				
評 価 の 観 点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	英語学習を通じて、言語やその運用能力を身に付けるとともに、その背景にある文化などについて理解できているか。	幅広い話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解し伝えたいことを英語で話したり書いたりして表現できるか、		英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ろうとしているか。	
評 価 方 法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。	1 学期	2 学期	3 学期	年度末
		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、ノート、パフォーマンステスト、授業内活動の評価などによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)					

英語コミュニケーションⅡ

愛媛県立宇和高等学校

教 科	外国語	単位数	3	対象	普通科 2年生Ⅰ型
使用教科書	MY WAY English Communication II	副教材等	なし	履修	☒ 必履修・選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
「英語コミュニケーションⅠ」の既習事項を踏まえ、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと《やり取り、発表》、書くこと）別の言語活動及びその領域を結び付けた言語活動を行い、更なる総合的な英語力の向上を図る。		本文の内容や文法事項を理解するとともに、新出語句や重要表現を身に付ける。便利な表現を身に付け、相手に自分の考えを英語で伝えることができるようにする。 ペアやグループにおいて、協働的な学習を行い、互いに教え合うことができるようにする。		特にありません	
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容		メ モ
	一 学 期	1年時の復習	・既習事項の復習		
		Lesson 1	Dances Around the World	・ SVO(O=that / what 節)、SVO(O=if / weather 節)、SVO(O ₁ O ₂ (O ₂ =if / that / what 節)	
		Lesson 2	Katsura Sunshine	・ 形式主語のit	
	二 学 期	Lesson 3	Living with Nature	・ 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形	
		Lesson 4	Sesame Street	・ SVOC (V=知覚動詞、C=動詞の原形)、SVOC (V=知覚動詞、C=過去分詞)、SVOC (V=使役動詞、C=過去分詞)、Help+O+ 動詞の原形	
		Lesson 5	From Landmine to Herbs	・ 関係代名詞（主格）、前置詞+関係代名詞、関係代名詞の非制限用法、関係副詞の非制限用法	
	三 学 期	Lesson 6	Murals	・ 助動詞、助動詞の過去形を使った表現、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞	
		Lesson 7	“Englishes” in the World	・ 分詞構文、受け身の分詞構文、完了形の分詞構文、付帯状況 with	
	学習方法 【授業】 積極的に英語を発音しよう。自分の意見を積極的に述べるなどコミュニケーションを図る気持ちを持とう。 【復習】 板書事項を何度も読んだり書いたりして覚えよう。各課の練習問題を確実に解いて理解しよう。 【予習】 新出単語やわからない単語を辞書で調べよう。				
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	英語学習を通じて、言語やその運用能力を身に付けるとともに、その背景にある文化などについて理解できているか。また、英語の特徴やきまりについて理解できているか。		情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができているか。また、言語の働きについての事柄が理解できているか。		英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ろうとしているか。
評 価 方 法	1 学期		2 学期	3 学期	年度末
	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		(評価方法) 定期考査、実技テスト、小テストなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。		1・2・3 学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)					

英語コミュニケーションⅡ

愛媛県立宇和高等学校

教 科		外国語	単位数	4		対象	普通科 2年生Ⅱ型	
使用教科書		MY WAY English Communication II		副教材等	英単語ターゲット 1400		履修	☒ 必履修・選択
授業の概要			到達目標			履修の条件・進路		
「英語コミュニケーションⅠ」の既習事項を踏まえ、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと《やり取り、発表》、書くこと）別の言語活動及びその領域を結び付けた言語活動を行い、更なる総合的な英語力の向上を図る。			本文の内容や文法事項を理解するとともに、新出語句や重要表現を身に付ける。便利な表現を身に付け、相手に自分の考えを英語で伝えることができるようにする。 ペアやグループにおいて、協働的な学習を行い、互いに教え合うことができるようにする。			特にありません		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容				メ モ	
	一 学 期	1年時の復習			・ 既習事項の復習			
		Lesson 1	Dances Around the World	・ SVO(O=that / what 節)、SVO(O=if / weather 節)、SVO ₁ O ₂ (O ₂ =if / that / what 節)				
		Lesson 2	Katsura Sunshine	・ 形式主語のit				
		Lesson 3	Living with Nature	・ 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形				
	二 学 期	Lesson 4	Sesame Street	・ SVOC (V=知覚動詞、C=動詞の原形)、SVOC (V=知覚動詞、C=過去分詞)、SVOC (V=使役動詞、C=過去分詞)、Help+O+ 動詞の原形				
		Lesson 5	From Landmine to Herbs	・ 関係代名詞（主格）、前置詞+関係代名詞、関係代名詞の非制限用法、関係副詞の非制限用法				
		Lesson 6	Murals	・ 助動詞、助動詞の過去形を使った表現、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞				
		Lesson 7	“Englishes” in the World	・ 分詞構文、受け身の分詞構文、完了形の分詞構文、付帯状況 with				
	三 学 期	Lesson 8	Deepika Kurup	・ 仮定法過去、仮定法過去完了、if を使わない仮定法、no matter +疑問詞				
Lesson 9		The World’s Poorest President	・ 同格を表す that 節、強調構文、倒置、省略					
Lesson 10		Living in an E-Society	ディベート					
学習方法								
【授業】積極的に英語を発音しよう。自分の意見を積極的に述べるなどコミュニケーションを図る気持ちを持とう。 【復習】板書事項を何度も読んだり書いたりして覚えよう。各課の練習問題を確実に解いて理解しよう。 【予習】新出単語やわからない単語を辞書で調べよう。								
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	英語学習を通じて、言語やその運用能力を身に付けるとともに、その背景にある文化などについて理解できているか。また、英語の特徴やきまりについて理解できているか。		情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができているか。また、言語の働きについての事柄が理解できているか。			英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ろうとしているか。		
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末		
			(評価方法) 定期考査、実技テスト、小テストなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均		
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)								

英語コミュニケーションⅡ

愛媛県立宇和高等学校

教 科		外国語	単位数	2		対象	普通科 3年生Ⅰ型	
使用教科書		MYWAY English Communication Ⅱ		副教材等	英単語ターゲット 1400		履修	必修・選択
授業の概要				到達目標		履修の条件・進路		
「英語コミュニケーションⅠ」の既習事項を踏まえ、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと《やり取り、発表》、書くこと）別の言語活動及びその領域を結び付けた言語活動を行い、更なる総合的な英語力の向上を図る。				本文の内容や文法事項を理解するとともに、新出語句や重要表現を身に付ける。便利な表現を身に付け、相手に自分の考えを英語で伝えることができるようにする。 ペアやグループにおいて、協働的な学習を行い、互いに教え合うことができるようにする。		特にありません		
学 習 の 二 年 間 計 画	月	単 元 名		学 習 内 容			メ モ	
	一 学 期	Lesson5		From Landmines to Herbs		・関係代名詞（主格、前置詞＋関係代名詞、非制限用法、関係副詞の非制限用法）		
		Lesson 6		Murals		・助動詞、助動詞の過去形を使った表現、助動詞＋have＋過去分詞、完了不定詞		
		Lesson 7		“Englishes” in the World		・分詞構文、受け身の分詞構文、完了形の分詞構文、付帯状況 with		
	二 学 期	Lesson 8		Deepika Kurup		・仮定法過去、仮定法過去完了、if を使わない仮定法、no matter ＋疑問詞		
		Lesson 9		The World’s Poorest President		・同格を表す that 節、強調構文、倒置、省略		
三 学 期		Lesson 10		Living in an E-Society		・ディベート		
学習方法								
【授業】積極的に英語を発音しよう。自分の意見を積極的に述べるなどコミュニケーションを図る気持ちを持とう。 【復習】板書事項を何度も読んだり書いたりして覚えよう。各課の練習問題を確実に解いて理解しよう。 【予習】新出単語やわからない単語を辞書で調べよう。								
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	
	英語学習を通じて、言語やその運用能力を身に付けるとともに、その背景にある文化などについて理解できているか。また、英語の特徴やきまりについて理解できているか。			情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができているか。また、言語の働きについての事柄が理解できているか。			英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ろうとしているか。	
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。			1 学期	2 学期	3 学期	年度末	
				(評価方法) 定期考査、実技テスト、小テストなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)								

英語コミュニケーションⅢ

愛媛県立宇和高等学校

教 科		外国語	単位数	4	対象	普通科 3年生Ⅱ型	
使用教科書		MYWAY English Communication III		副教材等	英単語ターゲット 1400	履修	☒ 必修・選択
授業の概要			到達目標		履修の条件・進路		
「英語コミュニケーションⅡ」の既習事項を踏まえ、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと《やり取り、発表》、書くこと）別の言語活動及びその領域を結び付けた言語活動を行い、更なる総合的な英語力の向上を図る。			本文の内容や文法事項を理解するとともに、新出語句や重要表現を身に付ける。 便利な表現を身に付け、相手に自分の考えを英語で伝えることができるようにする。 ペアやグループにおいて、協働的な学習を行い、互いに教え合うことができるようにする。		特にありません		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ	
	一 学 期	Lesson 1 Strategy for Listening & Reading 1 Strategy for Listening & Reading 2 Strategy for Listening & Reading 3 Strategy for Listening & Reading 4 Strategy for Listening & Reading 5 Strategy for Listening & Reading 6 Lesson 2 Strategy for Listening & Reading 7 Strategy for Listening & Reading 8	“Priceless” Café, “Priceless” Community 必要な情報を聞き取る・読み取る 意味のまとまりごとに理解する キーワードや内容語から概要を把握する 視覚情報を利用して聞き取る・読み取る 論理の展開を把握する（列挙・例示） 論理の展開を把握する（原因・結果） Nihonium – A new Element Born in Japan 話の要点を理解する 話者や筆者の意図を推測する				
	二 学 期	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	Tea in Desert Climates The Benefits of Origami The Mysteries of English Spelling A New Discovery in the Nasca Lines Today's Trash is Tomorrow's Treasure				
	三 学 期	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	Nap time at School Dog Tax Space Development				
学 習 方 法	【授業】積極的に英語を発音しよう。自分の意見を積極的に述べるなどコミュニケーションを図る気持ちを持とう。 【復習】板書事項を何度も読んだり書いたりして覚えよう。各課の練習問題を確実に解いて理解しよう。 【予習】新出単語やわからない単語を辞書で調べよう。						
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	英語学習を通じて、言語やその運用能力を身に付けるとともに、その背景にある文化などについて理解できているか。また、英語の特徴やきまりについて理解できているか。		情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができているか。また、言語の働きについての事柄が理解できているか。		英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ろうとしているか。		
評 価 方 法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末	
			(評価方法) 定期考査、実技テスト、小テストなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・C の3段階)							

論理・表現Ⅰ

愛媛県立宇和高等学校

教 科	外国語	単位数	2	対象	総合学科1年
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I Essential	副教材等	EARTHRISE Essential Workbook	履修	☒ 必修・選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
活動につながる文法や表現を習得し、様々な場面・状況で使える文法の定着を目指します。授業では、様々な言語活動を通して、自分自身の考えや気持ちを伝える方法を習得します。		言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」を中心とした発信能力を身に付ける。		特になし。	
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容		メ モ
一 学 期		Lesson 1	Introducing yourself	文法：文の種類 話題：紹介	
		Lesson 2	Visiting Kamakura	文法：時制 話題：週末の過ごし方	
		Lesson 3	Climbing Mt. Fuji	文法：時制 話題：旅行	
		Lesson 4	Tao's experiences in Japan	文法：助動詞 話題：助言・アドバイス	
		Lesson 5	Belonging to the kendo club	文法：助動詞 話題：課外活動	
		Lesson 6	Various sweets containing matcha	文法：受動態 話題：日本文化	
		Lesson 7	Volunteering as a tour guide	文法：不定詞 話題：ボランティア活動・将来	
		Lesson 8	Performing at the school festival	文法：不定詞 話題：学校生活	
		Lesson 9	Eco-friendly restaurants	文法：動名詞 話題：環境問題	
		Lesson 10	Good apps for English learners	文法：分詞 話題：勉強・デジタル機器	
二 学 期		Lesson 11	The person I respect most	文法：関係詞 話題：尊敬する人	
		Lesson 12	Interesting festivals and holidays	文法：関係詞 話題：祭・祝日	
		Lesson 13	My home country, Vietnam	文法：比較 話題：世界の国々	
		Lesson 14	My pet cat	文法：仮定法 話題：好きなこと・大切なもの	
学 習 方 法	【授業】 出てきた表現を繰り返し練習し、相手が話すことを理解したり、自分が伝えたいことを伝えられたりするようになる。 【復習】 習った表現を使えるように、繰り返し書いたり読んだりして練習しよう。 【予習】 新出単語や表現を辞書で調べよう。				
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解しており、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。		コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を理解し、活用できる。		文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 方 法	1 学期		2 学期	3 学期	年度末
	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。 (評価方法) 定期考査、実技テスト、小テストなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。				1・2・3学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)					

論理・表現 I

愛媛県立宇和高等学校

教 科	外国語	単位数	2	対象	生物工学科 2年
使用教科書	Amity English Logic and Expression I	副教材等	なし	履修	☒ 必修 ☐ 選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
中学校などにおけるコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、三つの領域（話すこと（やり取り、発表）、書くこと）別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、それらの領域を中心とした発信能力の育成を図る。		基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りしたりすることを通して必要な情報を得たりすることができる。また、スピーチ等の活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張等を論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができる。		条件はありません。	
月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ
学 習 の 一 年 間 計 画	1年時の復習 Lesson 1 Lesson 2 Action part1 Lesson 3 Lesson 4 Scene 1 Lesson 5 Lesson 6 Action part 2	スマート農業 自己紹介をしよう 昨日何をした？ 友達の好きなものを聞いてみよう 今、何してる？ 花粉症ってつらい？ ファーストフード店へ行こう 手伝ってくれる？ 浅草寺に行こう 富士山に登ろう	受身形 現在形 過去形 インタビューとその内容のまとめ 進行形 未来を表す表現 ファーストフード店で使われる表現の理解 助動詞 (can, may) 助動詞 (must, should) 山登りの際の注意点について		
	Lesson 7 Lesson 8 Set Up 1 Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Action part 3 Scene 2 Lesson 12 Lesson 13 Set Up 2 Lesson 14	漢字を学ぶ秘訣 秋葉原ってすごい！ プレゼンテーションをしよう お手製のパン ギネスに挑戦 大きな弁当 「いちばん」当てクイズを作ろう 道案内をしよう アイドル最高 備えあれば… パラグラフ・ライティングをしよう 何に使うもの？	現在完了形（完了・結果・経験） 現在完了形（継続・現在完了進行形） Show&Tell の方法の理解と実行 受動態 比較（比較級、最上級） 比較（同等比較、倍数比較） オリジナルクイズの作成 道案内で使う表現の理解 動名詞 To 不定詞（名詞的用法、It is ~ to...） パラグラフ構成の理解 To 不定詞（副詞的用法、形容詞的用法）		
	Lesson 15 Scene 3 Lesson 16 Action part 4 Lesson 17 Lesson 18 Set Up 3 Lesson 19 Lesson 20 Action Part 5 Scene 4	あの子は誰？ お土産を買おう 工場見学に行こう 日本のお土産をプレゼントしよう あの日の思い出 おすすめの旅行先 ミニディベートをしよう もしも私が… お出かけするなら？ お悩み相談室 メールを書こう	分詞（現在分詞、過去分詞） お土産店で使う表現の理解 関係代名詞（主格、目的格） 日本からのお土産についての話し合い 関係代名詞（what） 関係副詞 ディベートの方法の理解 仮定法過去 接続詞 悩んでいる友達へのアドバイスについての考察 Eメールの書き方の理解		
	学習方法	【授業】積極的に英語を発音しよう。自分の意見を積極的に述べるなどコミュニケーションを図る気持ちを持とう。 【復習】板書事項を何度も読んだり書いたりして覚えよう。各課の練習問題を確実に解いて理解しよう。 【予習】新出単語やわからない単語を辞書で調べよう。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	論理の構成や展開及び表現などについて、目的や場面、状況などに応じた構成や展開、さらに情報や考えなどを効果的に伝える表現ができているか。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現しているか。	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ろうとしているか。		
	評価方法	1 学期	2 学期	3 学期	年度末
	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。	(評価方法) 定期考査、実技テスト、小テストなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均
	到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)				

論理・表現Ⅱ

愛媛県立宇和高等学校

教 科		外国語	単位数	2		対象	普通科 2 年 I 型	
使用教科書		Vision Quest English Logic and Expression II Hope		副教材等	なし		履修	必修修・選択
授業の概要				到達目標		履修の条件・進路		
目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う技能を身に付け、主体的・自律的に表現する。				「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした総合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりできる能力を養う。		条件はありません。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名		学 習 内 容			メ モ	
	一 学 期	重要表現の確認		関係代名詞・比較・仮定法				
		Lesson1	将来の目標	○主語の選択・文と文のつながり・目標と達成の表現				
		Lesson2	学校生活	○適切な動詞・パラグラフの基本構成・好きな学校行事についての表現				
		Lesson3	スポーツ	○時を表す表現・例示・追加のパラグラフ・好きなアスリート・実績についての表現				
		Lesson4	情報化時代	○義務・必要・推量の表現、比較・対象のパラグラフ ソーシャルメディアの利点と欠点の表現				
	二 学 期	Lesson5	環境問題	○情報を加える表現、原因・理由・結果を表す表現 環境問題の原因と影響についての表現				
		Lesson6	文化	○情報を加える表現、主張や理由の根拠を表す表現、訪れたい国と文化についての表現				
		Lesson7	言語教育	○情報を加える表現、リーディングを要約する手順の理解、第二公用語としての英語についての表現				
		Lesson8	社会	○情報を伝える表現、リスニングの要点・要約をまとめる手順、日本の社会についてのやり取りをする表現				
		Lesson9	願望	○仮定を表す表現、スピーチで構成や伝え方を意識した表現、想像上の状況を表す表現				
	三 学 期	Lesson10	科学技術	○数量を表す表現、プレゼンテーションの構成や伝え方を意識した表現、AI と共に働くことについての表現				
		Lesson11	健康	○比較を表す表現、ディベートのルールや手順、構成を理解・実施				
Lesson12		ビジネス	○否定の表現、ディスカッションでの建設的な意見ののべ方の表現、チョコレートを販売する上で重要な点について述べる表現					
学習方法								
【授業】学習した表現を使って英語で表現できるようにしよう。分かりやすくプレゼンテーション等ができるように工夫しよう。 【復習】習った表現を使えるように、繰り返し書いたり読んだりして練習しよう。大きな声で音読をしよう。 【予習】疑問点をなくして授業に臨もう。								
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解しており、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。			コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を理解し、活用できる。			文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
評価方法	※上記の 3 つの観点を基に、各学期ごとに評価する。			1 学期	2 学期	3 学期	年度末	
				(評価方法) 定期考査、実技テスト、小テストなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の 3 つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・C の 3 段階)								

論理・表現Ⅱ

愛媛県立宇和高等学校

教 科		外国語	単位数	2	対象	普通科 2 年Ⅱ型		
使用教科書		Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope		副教材等	Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope Workbook		履修	必修・選択
授業の概要			到達目標		履修の条件・進路			
目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う技能を身に付け、主体的・自律的に表現する。			「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした総合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりできる能力を養う。		条件はありません。			
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ		
	一 学 期	重要表現の確認	関係代名詞・比較・仮定法					
		Lesson1	将来の目標	○主語の選択・文と文のつながり・目標と達成の表現				
		Lesson2	学校生活	○適切な動詞・パラグラフの基本構成・好きな学校行事についての表現				
		Lesson3	スポーツ	○時を表す表現・例示・追加のパラグラフ・好きなアスリート・実績についての表現				
		Lesson4	情報化時代	○義務・必要・推量の表現、比較・対象のパラグラフ ソーシャルメディアの利点と欠点の表現				
	二 学 期	Lesson5	環境問題	○情報を加える表現、原因・理由・結果を表す表現 環境問題の原因と影響についての表現				
		Lesson6	文化	○情報を加える表現、主張や理由の根拠を表す表現、訪れたい国と文化についての表現				
		Lesson7	言語教育	○情報を加える表現、リーディングを要約する手順の理解、第二公用語としての英語についての表現				
		Lesson8	社会	○情報を伝える表現、リスニングの要点・要約をまとめる手順、日本の社会についてのやり取りをする表現				
		Lesson9	願望	○仮定を表す表現、スピーチで構成や伝え方を意識した表現、想像上の状況を表す表現				
	三 学 期	Lesson10	科学技術	○数量を表す表現、プレゼンテーションの構成や伝え方を意識した表現、AI と共に働くことについての表現				
		Lesson11	健康	○比較を表す表現、ディベートのルールや手順、構成を理解・実施				
Lesson12		ビジネス	○否定の表現、ディスカッションでの建設的な意見ののべ方の表現、チョコレートを販売する上で重要な点について述べる表現					
学習方法	【授業】学習した表現を使って英語で表現できるようにしよう。分かりやすくプレゼンテーション等ができるように工夫しよう。 【復習】習った表現を使えるように、繰り返し書いたり読んだりして練習しよう。大きな声で音読をしよう。 【予習】疑問点をなくして授業に臨もう。							
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解しており、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。		コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を理解し、活用できる。		文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	1 学期		2 学期		3 学期		年度末	
	※上記の 3 つの観点を基に、各学期ごとに評価する。		(評価方法) 定期考査、実技テスト、小テストなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の 3 つの観点から総合的に評価する。				1・2・3 学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・C の 3 段階)								

実践英語

愛媛県立宇和高等学校

教 科		外国語	単位数	2		対象	生物工学科3年	
使用教科書		Watching Joyful		副教材等	なし		履修	必修修・選択
授業の概要			到達目標			履修の条件・進路		
文法や構文、英語表現の理解が授業の中心となる。日常生活でよく使う表現を身につけ、相手が話す情報や考えを理解したり、理論的に自分の意見を述べたりする姿勢、工夫して分かりやすく相手に伝える能力を養う。			自分の考えや伝えたいことを英語で表現する活動に重点を置き、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸張させるとともに、事実や意見を伝える表現を身に付ける。			特になし。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容					メ モ
	一 学 期	Lesson 1	Japan's Gymnastics Team Wins Gold Medal					
		Lesson 2	Black Board Art					
		Lesson 3	Shimaenaga, "Snow Fairies"					
		Lesson 4	Borderless World of Art					
		Lesson 5 特集	Holi, the World's Most Colorful Festival Popular Desserts in the World					
	二 学 期	Lesson 6	Japan Gets a Ticket to the 2026 World Cup					
		Lesson 7	Wonders of Tasmania					
		Lesson 8	We love Miffy					
		Lesson 9	History of Summer Koshien					
		Lesson 10	How Should We Use Social Media?					
	三 学 期	Lesson 11 特集	Learning from the Lifestyle of Edo Is Your English Correct?					
		Lesson 12 特集	Designing Sports Wheelchairs World Heritage Sites in Japan					
学 習 方 法	【授業】 コミュニケーションを図ろうとする態度で授業に臨み、大きな声で発音することを心掛けましょう。 【復習】 学習した内容をしっかり声に出して読み、重要な表現を覚えよう。 【予習】 新出単語やわからない語句を辞書で調べよう。							
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	英語学習を通じて、言語やその運用能力を身に付けるとともに、その背景にある文化などについて理解できているか。また、英語の特徴やきまりについて理解できているか。		情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができているか。また、言語の働きについての事柄が理解できているか。			英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ろうとしているか。		
評 価 方 法	※上記の3つの観点を基に、各学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末		
			(評価方法) 定期考査、課題テスト、課題プリント、ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均		
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)								

時事英語

愛媛県立宇和高等学校

教 科	外国語	単位数	2	対象	普通科 3年I型	
使用教科書	Watching NEWS	副教材等	なし	履修	必修修・ 選択	
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路		
文法や構文、英語表現の理解が授業の中心となる。日常生活でよく使う表現を身につけ、相手が話す情報や考えを理解したり、理論的に自分の意見を述べたりする姿勢、工夫して分かりやすく相手に伝える能力を養う。		自分の考えや伝えたいことを英語で表現する活動に重点を置き、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸張させるとともに、事実や意見を伝える表現を身に付ける。		特になし。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ
	一 学 期	Lesson 1	Javelin Thrower Kitaguchi Haruka	○動名詞		
		Lesson 2	Pyramids and the Nile	○受け身		
		Lesson 3	Flower Artist from Denmark	○make + (代) 名詞＋形容詞		
		Lesson 4	Wonders of Tasmania	○形容詞の最上級		
	二 学 期	Lesson 5	Street Artist Banksy	○名詞を修飾する過去分詞		
		Lesson 6	Mt. Fuji and Its Cultural Importance	○接続詞 when		
		Lesson 7	Japanese team Will Play in Soccer World Cup	○現在完了		
		Lesson 8	Generative AI	○間接疑問文		
		Lesson 9	Tug-of-War Tradition in Okinawa	○during と while		
三 学 期	レッスンの総まとめ	重要表現 家庭学習	○既習の言語材料の復習			
学 習 方 法	【授業】 コミュニケーションを図ろうとする態度で授業に臨み、大きな声で発音することを心掛けましょう。 【復習】 学習した内容をしっかり声に出して読み、重要な表現を覚えよう。 【予習】 新出単語や熟語を辞書で調べ、声に出して何度も本文を読もう。					
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	英語学習を通じて、言語やその運用能力を身に付けるとともに、その背景にある文化などについて理解できているか。また、英語の特徴やきまりについて理解できているか。		情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができているか。また、言語の働きについての事柄が理解できているか。		英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ろうとしているか。	
評 価 方 法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末
			(評価方法) 定期考査、課題テスト、課題プリント、ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)						